

大阪府市場だより

第317号

(平成30年7月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「さくらんぼ」磯野 由美（磯丸運送）

府市場協会通常理事会を開催

大阪府中央卸売市場協会（三木博司理事長）の平成30年度通常理事会が6月25日午前9時から管理棟会議室で、来賓に府中央卸売市場の船木場長、余田次長を迎えて開催された。



三木博司理事長
はじめに、三木理事長が、「この度の、大阪府北部地震によつて尊き命をなくされました皆様のご冥福をお祈りさせていただきます」とともに、負傷されました方々や、いまだ避難生活を余儀なくされておられる方々に心よりお見舞いを申し上げます。

当市場におきましても迅速な対応が進んでいくもの、まだまだ甚大な被害の箇所も見受けられております。どうか大阪府、管理センター様のお力を最大限にお貸しいただきまして、安心・安全な生鮮食料品の安定供給の基地としての重要性に基づき、早急かつ十二分に修復の旨をお願いしたいと思っております。

結びに、今年度も市場協会としての立ち位置を熟知し、場内一丸となって市場の更なる発展に取り組んでまいりたいと思っております。皆様方のご協力を切にお願いを申し上げます。」と挨拶。

次に、来賓の船木場長が「皆さん方におかれましては、市場の円滑な取り組みに日頃からご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。地震発生から1週間、皆様方のご尽力によりまして少しずつ日常を取り戻しつつあります。本場にありますがどうかございます。しかしながら、まだまだご不便をおかけしております。復興に向けて全力で取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。三木理事長をはじめ、市場協会の皆様におかれましては、円滑な市場の運営にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。こういう地

震の直後だからこそ市場協会の果たす、市場内の連携と親睦をはかる、こういう役割は大変大切なことと思っております。引き続き運営のほどよろしくお願いたします。」と挨拶された。

会議は、三木理事長が議長になり、平成29年度事業報告及び決算、剰余金処分案、平成30年度事業計画及び予算案など8議案を審議し、いずれも原案通り承認可決した。（役員は前年度と変更なし）

特に今年度が開場40周年にあたることから平成30年度開場周年記念事業積立金計画では、開場40周年記念式典及び祝賀会と市場まつり事業が承認された。

最後に、各専門部会の部会長及び部会員についても、各所属の推薦の通り承認された。



専門部会委員名簿 平成30年7月1日(敬称略)

	総務部会	福利厚生部会	計量部会	安全部会	食品衛生部会
部会長	理事 山岡茂	理事 小笠原元功	理事 板東啓三	副理事長 東野達雄	理事 酒井孝博
部会	管理センター(株)	理事 山口秀雄	理事 宮前茂	理事 浜本佳代子	理事 牧亮介
	大阪北部中央青果(株)	理事長 三木博司	理事 山岡茂	理事 佐々木功良	理事 木村 育
	大果大阪青果(株)	理事 植田孝	理事 酒井孝博	運営委員 岡崎信次	運営委員 細川 満
	㈱うおいち北部	理事 橋爪康至	理事 小笠原元功	運営委員 坂口友一	運営委員 亀山 真吾
	㈱大水北部支社	理事 眞部 誠司	理事 板東啓三	運営委員 花本章男	運営委員 花本章男
	大阪府青果卸売協同組合	副理事長 東野達雄	理事 永富 完次	理事 西田 景典	理事 半田 啓介
	大阪府水産物卸協同組合	副理事長 榎本 昭弘	理事 田中 勝治	理事 多田 寿恵広	理事 吉田 貴与志
	㈱北部冷蔵サービスセンター	理事 巽 計廣	理事 井上 真樹子	理事 大藪 邦雄	理事 高崎 良美
	㈱大阪府食品流通センター	理事 田中英治	理事 辻村 大介	理事 辰見 元有	理事 大門 正裕

府・管理センター報告等を協議

定例常駐代表者会議

同会議が7月19日8時15分から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長(府中央卸売市場管理センター(株代表取締役)の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、府の余田次長から次の項目について報告があった。①大阪府発注の大規模改修工事等契約状況として、青果棟直流電源設備改修工事及び水産卸棟東系統冷却水設備改修工事は7月に契約締結済、青果A4コア荷物用昇降機設備改修工事は入札中。②直接集荷販売額の平成30年度4～5月分(速報値)は約16億5千万円、前年比較では、金額ベースで約6千万円、3.8%増加。市場全体取扱高は金額ベースで約20億円、13%減。議題2、管理センターの宮前統括から3ページの通り報告があった。



山口議長から、6月の青果くず排出量が通常の1.5倍になっているが、どうしても捨てなければならぬときや多くなったりするときは、場外事業者の悪質な不法投棄と同じになつてしまうので、あらかじめ管理センターへ相談していただきたいと述べられた。田中食品流通センター常務

に状況を聞かれたところ、今年はず年分より微増で、一般ごみは減少との回答があった。

議題3、7月6日に開催された第2回40周年記念市場まつり実行委員会の概要が、スパーバイザーを務める榎本水産物卸協同組合理事長から報告があった。山口議長から、いいものを安く提供することを念頭に取り組んでほしいとの話があった。議題4、その他として、①小笠原福利厚生部会長から新規事業の明石船釣りに参加者13名で実施することを報告された。②事務局から磯丸運送の磯野由美社長に作成いただいた来年のカレンダー挿絵の紹介があった。酒井大果大阪青果(株)支社長から、12月の挿絵について国産の果物(リンゴやみかん)にしてほしいとの要望があったので、その旨依頼することになった。③榎本水産物卸協同組合理事長から、夜11時ごろ水産棟2階仲卸事務所へ入るところのカギが閉まっていることの指摘があった。④船木場長から、暑い時なので職員の健康にもご留意をとの話があった。⑤永富青果卸売協同組合副理事長から、カラスの害が多発しているのその対策について要望があった。⑥湯城所長から、8月8日に開催される食品衛生指導員研修会・講習会は、HACCPに基づく衛生管理がテーマであり、なるべく多くの方の参加を依頼された。⑦山口議長から、食流センターファミリーマート等駐車場の有料化状況について質問があり、田中食品流通センター常務は、7月10日から有料化した結果、かなり空いていることや、監視は防犯カメラで行っていると述べられた。

大阪府北部地震緊急対策会議

第3回会議

6月25日10時15分から電気室関係者の参加を得て開催された。

大阪府及び管理センターから次の項目について報告があった。

①ガスの復旧について、6月24日午前9時から大阪ガス40名、市場電気室7名、管理センター2名、府2名の総員52名で場内の安全点検を行い午後3時に安全確認を完了した。②廊下部の天井板石膏ボード等落下危険物の処理及び雨漏りの応急処置は25日に完了の予定であること、③市水工水の水漏れ応急処置を完了。



また、今後の本復旧工事について府から調査、協議中であることが報告された。榎本水産物卸協同組合理事長から淡水売場のデッキの下部分が落ちていたので、不要なも

のなら早急に撤去するよう依頼があった。宮前管理センター統括から、ガレキ等の処分には管理センターの軽トラックを使ってもらいたいとの話があった。

第4回会議

7月19日8時50分から管理棟4階会議室で開催された。大阪府及び管理センターから次の通り報告があった。

(1)緊急復旧工事(管理センター)①落下危険物の緊急処理及び廃棄物処理②発災当日から着手し6月30日までにすべて完了②雨漏り③豪雨により再度数か所雨漏りが見られたため緊急修繕を実施、完了③市水工水の水漏れ、ガス供給、スプリンクラー④修理完了(2)本復旧工事等(府・管理センター)①天井板、壁、床工事等②府発注③水産卸棟給水管設備④府依頼により管理センターで発注(財源は府負担)③卸棟屋上コア周り防水工事④府依頼により管理センターで発注(財源は府負担)④水道管(二次側)損傷により被った被害の復旧工事⑤対象2事務所、内1事務所は緊急工事として完了⑥工事範囲、費用等は府で検討の上、対象店舗と協議対応⑤発災による店舗等使用不能期間の使用料の減免⑥被害状況を勘案し、府で減免予定

(3)廃棄物処理①茨木市との交渉により、分別の上、一部は無償で受け入れ可 板東(株)大支社長が、食堂の復旧はいつになるのか目途を示してほしいと述べられた。府から

明日10時に手順について4卸2組合の担当の方と協議する会議を開催させていただきたいと提案された。三木大阪北部中央青果(株)社長から、市場全体で厚生食堂をという発想はないかと述べられ、山口議長はぜひぶん前だが同じような話があり利用時間帯が合わないといったことでもあり、今すぐは無理かなと述べられた。宮前統括から費用負担を含めて綿密な協議が必要だが、お客さんや料理教室もできるメリツトもあると述べられ、時間をもらって検討したいと述べられた。



府市場活性化事業

府市場では、市場活性化事業として、場内の卸や仲卸会社とともに、産地や量販店、事業連携している大学などの協力により生鮮食品の消費拡大キャンペーンや食育事業を展開している。

◆松坂屋高槻店で「府市場開場40周年記念企画第2弾！」

松坂屋高槻店で6月27日から7月3日まで同企画第2弾の「うまいんじよー徳島フェア」が開催された。27日、30日には鱧を購入した先着100名の方に、すだち2個をプレゼント。30日は、追手門学院大学の学生が水産、青果それぞれの売場で「徳島の食」をPR。また、マスコットキャラクターも活躍。徳島県のみならず、たかつきPR係長はにたん、せりちゃんも登場し、すだちく



んダンスやとくしまクイズへも参加してイベントを大いに盛り上げた。協力：大果大阪青果(株)、(株)林田商店

開場40周年記念市場まつり実行委員会を開催

同実行委員会(委員長細田喜代司青果卸売協同組合副理事

校のチアリーダーイングチームの出演が発表された。その公演場所等は次回までに検討することとされた。③青果産地の出店は現在18に上ることが報告された。また、徳島県の「新鮮なっ！徳島号」や、熊本県のくまモンの来場を依頼していることが報告された。

企画運営事業者として(株)ライズクリエイト社を選定したことが報告された。当日、同社から会場レイアウトイメージが示され、これをもとに協議が行われ、これらの意見をもとに次回の会議で決定することとされた。②5月6日の祝賀



会で大好評であった梅花高等学校



◆大阪成蹊短期大学での食育

5月31日、大果大阪青果(株)の協力により、和歌山県農業協同組合、田辺市役所、JA全農とつとりから講師を迎え、産地の特色などの講義の後、ラッキョウ、梅干し漬けを体験した。



○岐阜県トマトの食べ比べ

6月29日、岐阜県の農業について特別授業を実施した。この授業は、大阪北部中央青果(株)の協力で、JA全農岐阜、JAひだ、飛騨蔬菜出荷組合より講師3名を迎え、岐阜県の産地紹介と農業の特色等の講義を行い、その後産地や品種による味、触感、形などの違いを実地に体験してもらった。6種類のトマトの食べ比べを行った。学生にとっては、各産地の農産物に対する理解と関心を深める貴重な体験になり好評だった。



衛検だより

HACCPの導入ってどうやるの？(その2)

食品衛生検査所

今回は前回に続き「標準作業手順書」について、さらに詳しく説明していきたいと思えます。

まず、施設に作業マニュアルがあれば、それを「標準作業手順書」として使用すればいいのですが、なければ今から説明する方法で作ってみましょう。例えば、魚を捌いて刺身のパック詰めするという連の作業があったとします。まず、普段行っている作業を頭の中で行ってみてください。それを頭に思い浮かんだ順番に箇条書きにしてください。この時、行間を広く開けてください。

箇条書きにできたら、実際の作業の順番と一致しているか現場で確認します。異なる場合は、実際の順番に修正します。ここまで出来たら、とりあえず「標準作業手順書」ができたことになり、この作業手順で衛生的な食品の取り扱いができるかどうかは、別問題です。そこで完成した作業手順の中に「手洗い」や「器具の洗浄」の手順が入っている

か見てみましょう。入ってなければ、事前に開けておいた行間に書き加えます。このとき、どこに書き加えればいいのか考えてみましょう。「手洗い」は、作業を始める前はもちろんのこと、基本的に汚染したものに触れた後で、きれいなものに触れる場合に必要です。具体的には、冷蔵庫のドアノブや魚の体表などに触った後、刺身を調理する際には「手洗い」が必要になります。

次に作業手順が最善かを考えてみましょう。きれいな部分を処理する作業と汚い部分を処理する作業の順番を見直すことで手洗いや器具の洗浄の回数を減らすことができる場合があります。このように「標準作業手順書」を作成することによって客観的に作業を見直すことができ、合理的かつ衛生的な食品の取り扱いにつなげていけるメリットがあります。見直し方がわからなければ、ぜひ衛生検査所に相談下さい。

管理センターからの報告(警)

宮前統括から次の項目について報告があった。(数字は取扱)

- 活性化事業□ハット整備(重点事業)◆コールドチェン化向けの具体的取り組み(水産仲卸売場)設計、基本計画策定に向けてコンサルの業務委託(日建設計と協議中)□ソフト事業◆市場見学▽府政学習会7/28(60名出席)8/17(136名)▽福智福祉社会(あいの会)の早期せり見学8/4、小学生約40名▽JA大阪泉州食農体験ツアー8/23、小学1~6年生約60名◆イオン市場直送セル(水産物)▽四条産店8/18
- 修繕事業□79件、16百万円◆青果棟事務所廻り駐車場区画線他修繕工事(幅2.3m)▽25(二期)5/16(毎週水曜日8週間(雨天場合は順次延期))
- 大阪府依頼事業□1件(青果棟低圧幹線設備改修)1.12百万円(今秋以降着工)
- 大阪府北部地震による大阪府依頼事業2件、約37百万円、工期10月31日まで◆水産棟青果棟屋上3ア周り防水緊急復旧工事
- ◆水産仲卸棟給水設備緊急復旧工事
- み問題□不法投棄の防止□不法投棄件数(6月、6件)▽対策開始前(前年)比約96%減少□青果くず排出状況(一)は対前年比(6月)単月実績□排出量110トン(+35トン)+46%□処理費用1.99万円(+62万円)+46%◆6月までの累計排出量2.96トン(+51トン)+21%□処理費用53.3万円(+92万円)+21%◆7月18日現在の状況□排出量51トン*日29、7月1122トン
- カラス対策□カラス捕獲数5回28羽▽次回7/25予定
- 禁煙対策▽連日書交付ゼロ、但し、ポイ捨て散見
- 「7月9日8時から16日8時まで」の間で1658本の吸殻が発見されており、5月の調査と同様であり、立駐下の買出人駐車場(配送ハイス)に多いので啓発に努めたい。▽啓発の強化(禁煙看板、ポスター、場内放送)▽巡回巡回指導の見直し(巡回時間の変更)▽指導員の増員(警備員へ委嘱)
- その他□定期除草3回/年実施▽水産、青果、管理棟周辺緑地帯8/2~14□トイレ内での落書事象が発生(同一人物か)▽状況を見極めて警察(被害届提出(器物損壊罪))

市場見学

◆タキイ研究農場付属園芸専門学校 校学生さんら一行

タキイ研究農場における品種の研究開発や栽培を実際に体験し、園芸に関する基礎知識や栽培技術を習得する同校の学生、校長・教頭先生ら67名とタキイ種苗㈱の新入社員14名の皆さん一行が7月5日9時に来場。管理棟1階の展示ホールで市場の概要説明を受けたのち、青果せり場を見学。次に冷蔵庫棟を見学し、マイナス25度からマイナス50度を体験。その後、食品衛生検査所で業務説明や実際の検査状況の説明を受けた。最後に、管理棟7階の会議室で、大阪北部中央青果(株)蔬菜部長の古東氏が農業を取り巻く環境について講演され、一行は熱心に聞き入った。次代の農業後継者や園芸技能者として、農業を支え、発展させていくことの意気込みが伝わってくるようだった。



して、農業を支え、発展させていくことの意気込みが伝わってくるようだった。

ソフトボール大会・文化祭の実施要領等を決定

市場協会の福利厚生部会(部長 小笠原元功(株)おいち北部支社長)では、7月20日にソフトボール大会と文化祭の各実行委員会を開催し、実施要領等を決定した。ソフトボール大会

今回についても、試合当日1チーム9名集まらなかった場合、助っ人(3名まで。場内従事者に限る)を頼むことができることとし、決勝戦は水曜日の9月26日14時30分からの試合開始に決定した。対戦のくじ引きがあり、別図の通り決まった。○開催日…9月6日(木)・13日(木)・14日(金)・19日(水)、予備日9月20日(木)・21日(金)、決勝戦9月26日(水)、同予備日9月27日(木)(試合開始時間)第1試合13

各行事の実行委員

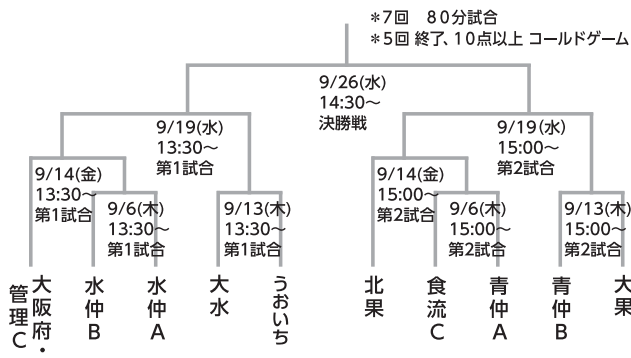
	ソフトボール大会	文化祭
管理センター	牧 亮介	浜本 佳代子
北 果	佐々本 功民	山添 京子
大 果	水道 武司	山崎 宏美
うおいち	櫻井 通平	櫻井 通平
大 水	吉永 真介	寺前 みち子
青 仲	時田 桂子	近藤 智恵子
水 仲	多田 寿恵広	多田 寿恵広
北 冷	井上 真樹子	井上 真樹子
食流センター	辻村 大介	辻村 大介
大阪府	黒川 英則	黒川 英則

時30分、第2試合15時、決勝戦は14時30分から。○場所…摂津市青少年運動広場又は摂津市立スポーツ広場、淀川河川公園鳥飼上地区グラウンド○申込み…8月31日まで(協会 FAX 3699)へ。○表彰…優勝チーム、準優勝チーム。他の参加者には参加賞。

◆府市場運営取引業務協議会の北野委員一行が視察

府では、中央卸売市場の業務運営及び売買取引に関する必要事項の調査審議を行うため、府市場運営取引業務協議会を設けているが、その消費者代表の北野孝子委員が大阪府地域消費者団体連絡会など6団体の皆さん11名とともに、7月12日に市場を視察した。まず、水産卸店舗で拓新水産(株)の杉江茂樹社長から水産物の説明を受けた後、マイナス50度の冷蔵庫棟の温度体験、バナナ加工棟の視察、そして青果仲卸(株)北部ヤング東野達雄社長(府青果卸売協同組合理事長)の店舗では、旬のブドウやスイカの試食提供があり、果物の見分け方や果物・野菜の市況の話など北野委員らと専門的な話題で大いに盛り上がりがあった。この後、食品衛生検査所では、湯城所長から、職員10名体制で、そのうち職員2名

第40回ソフトボール大会組合せ表



[大阪府からのお知らせ]



文化祭 ○開催日…10月4日(木)・5日(金) ○場所…管理棟7階会議室に変更された。(出品目録)絵画・写真・書道・手芸生け花・園芸作品・文芸作品(賞)出品者には参加賞(入1点)を贈呈、但し会員所属構成員に限る。○申込み…9月21日までに所属団体実行委員経由で協会 FAX 3699へ。 ◎なお、人気投票の上位3人に賞が贈呈される。

が交代で午前零時から出勤し、3時から場内を回って食の安全に目を光らせるとともに、細菌やウイルス、残留農薬などについて、高度な検査機器を駆使して検査している状況の説明を受けた。今回の見学は、市場の施設や安全安心のための取り組みをつぶさに見学されたもので、市場職員から普段説明を受けている内容がよく分かったと好評だった。



卸売業者取扱高 (平成30年6月)

大阪府中央卸売市場

卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青 果	野 菜	10,728	102.0	1,993,959	88.8
	果 実	3,758	91.0	1,384,015	103.1
	小 計	14,487	98.9	3,377,975	94.2
水 産 物	生鮮水産物	1,594	95.6	1,397,301	95.3
	冷凍水産物	235	78.6	264,262	83.9
	加工水産物	920	91.1	1,002,313	97.8
	冷凍食品	340	95.8	166,251	97.8
	小 計	3,090	92.7	2,830,127	95.1
卸 売 業 者 計		17,577	97.8	6,208,102	94.6

開場日数 6月 平成30年・29年 22日

秋冬商品展示会を開催

(株)おいちと(株)大水の両北部支社は、7月10日に水産棟の各社会議室において、恒例の秋冬用加工食品展示会を開催した。

普段は商談のないメーカーと接点を持つことや新しい商品を発見していたたく場として、来場者の皆さんに好評で、多くの仲卸や量販店の担当者にも熱心に売り込みを図るなど、商談を行っている人たちが賑わった。

